



あしすとばあく

第 39 号

みんなの市民活動交流フェスタ



熱・心・発・信!

「NPO 法人 × 市民活動団体 × 郡山市 × 市民・学生ボランティア」



第39号 目次

- 表紙 みんなの市民活動交流フェスタ
- 2P 郡山市の団体紹介①
一般社団法人日本善行会福島県支部
- 3P 郡山市の団体紹介②
NPO 法人宙の仲間たち
- 4P みんなの市民活動交流フェスタ
開催報告①
- 5P みんなの市民活動交流フェスタ
開催報告②
- 6P 郡山市の団体紹介③
おはなしくれよん
- 7P 平成 27 年度市民活動応援講座(後期)
ワンポイントファンディング memo
- 8P 助成金情報、協働推進講演会開催報告、
編集後記

第 39 号では、10月24日(土)に開催されました「みんなの市民活動交流フェスタ」を特集でご紹介します。

NPO法人・市民活動団体や行政が、協働の旗のもと団結し、市民の皆さんに向けた市民活動の周知や理解を深めていただく機会として開催するものです。会場に溢れた未来のこおりやまを担う子どもたちの笑顔は、参加団体の皆さんへ大きな希望を分けてくれました。

(特集ページ 4P ~ 5P)



一般社団法人日本善行会福島県支部



一般社団法人日本善行会福島県支部 支部長 山崎久夫さん

アシストパーク郡山（以下、「センター」）

本日は、一般社団法人日本善行会福島県支部 支部長 山崎久夫さんにお話を聞かせていただきます。

センター 活動歴が20年になるそうですね。皆さんの活動について聞かせていただけますか。

山崎さん 日本善行会の活動は、年2回の善行表彰を行うことです。地域で社会貢献活動を行っている人を推薦し、厳しい規定を通過した地域の手本となる活動を表彰し讃える活動です。本部は、東京にあり昭和12年から始まった活動ですので、78年になりますね。私たち福島県支部が出来て20年です。

センター 表彰についてもう少しお話を聞かせていただいてもよろしいでしょうか。

山崎さん まずは年2回の東京の明治神宮参集殿に於いて春・秋季善行表彰式が行われますが、福島県表彰者の選出・推薦を行います。審査に通過しましたら、私たちの引率メンバーと一緒に格式ある明治神宮参集殿にて表彰を受けることとなります。また、長寿善行者の方は、東宮御所に於いて皇太子殿下御接見の機会もありまして民間の表彰活動としては、長い歴史と受賞者の感激も大きな内容となっていると思います。福島県支部の現在の会員は、40人ほどでそれぞれが出来る範囲で活動しています。

センター 明治神宮参集殿での表彰は素晴らしい体験となるでしょうね。選出される基準はどのようなものでしょうか。



みんなの市民活動交流フェスタバザー出店

山崎さん 福島県支部の選考委員が年間を通して、様々な情報を集め選出を行います。基準としての特徴的な部分は、特に役職や地位をお持ちでない無き普通の方々の中から純粋に「善行」に従事されている方の活動を表彰することです。

著名な方、地位のある方には、それぞれ公としての表彰制度がありますが、そうではない方々に向けて作ったことが重要なことであり、長く続いてきた理由ではないでしょうか。

また、東日本大震災の時にも、会員の安否を確認しながら活動は継続して行いました。

センター この選出の基準は、非常に大切な活動ですね。その他の活動や今後のことなど教えてください。

山崎さん 地域での清掃ボランティア活動への参加やバザー・アルミ缶回収などで得た収益を会の運営などに充てています。

今後の課題として、福島県支部会員の高齢化が進んでおりまして会員募集などを強化していかなければならないと思っています。

「みんなの市民活動交流フェスタ」は、会の活動を知っていただく機会になればとの思いから参加しました。

センター ありがとうございます。今後ともよろしくお祈りします。



そら NPO 法人宙の仲間たち



NPO法人宙の仲間たち 理事長 兼田文子さん

アシストパーク郡山（以下、「センター」）

NPO 法人宙の仲間たちで運営されている指定介護事業所「おふんさろん宇宙（そら）」に伺って、理事長の兼田文子さんにお話を聞かせていただきます。

センター 道路に向けた大きなサッシの窓が「地域に開かれたサロン」を感じることができますね。

兼田さん そうですね、私たちの理念は、全ての方が互いの存在価値を理解し認め合いながら、信頼し助け合う関係づくりを目指しています。利用いただくメンバーさんの地域生活の中での自立に向けて、個々の可能性を発揮できるように活動しています。

兼田さん 平成15年11月にNPO法人として設立しました。指定生活介護事業とともに、余暇活動の支援として創作活動(作品展の実施)、文化的交流活動として音楽などのプロで活躍される方々との交流プログラムを行っています。

様々なプログラムの実施にあたり、お陰様で地域の方々の多数の参加をいただけるようになりました。食育をテーマにしたプログラムは、メンバーさんのコミュニティファームでの体験実習や調理実習を通して、心と体の免疫力を付けることを目的に進めています。地域の皆さんやメンバーさんなどをはじめ、繋がる皆様全員に還元ができたらの想いから、スタッフ一同で食育関連の資格勉強に励んでいます。

センター 創作活動で作品展も精力的に展開されていますね。そのあたりも少しお話いただけますか。



兼田さん 創作をする際にメンバーさんをサポートするスタッフに伝えているのは、「なにか創作をさせる」のではなく「気持ちや感情が動くのをサポートする」感性を持つように指導しています。作業ではなく、「創作」なのです。

作品展では鑑賞いただいた方々から、たくさんのお褒めの言葉をいただいています。メンバーさん一人一人の個性が受け入れていただける大切な機会でもあります。

また、私どもの活動を他地域のプロミュージシャン、アート作家の方々が目にとめてくださって遠路はるばる足を運んでくださり演奏やワークショップなどを開いています。中には、後から業界で有名な方だと知ってびっくりしたりと本当に感謝しています。

センター 郡山市のキャラクターがくとくんとおんぷちゃんの石鹸も制作・販売されているのですね。

兼田さん 平成25年の障害者総合支援法の施行に伴い、郡山市の協力で商品開発をしました。市のイベントや企業のイベントなどで使っていただく機会が増えています。

地域の皆様をはじめ、たくさんの方の力を借りて、メンバーさん一人一人の自立した日常生活を営むための機会の創出に、今後も取り組んで参ります。

センター これからも応援して参ります。本日はありがとうございました。



みんなの市民活動交流フェスタ開催報告①

2015年10月24日(土) 会場：郡山市子ども総合支援センター（ニコニコ子ども館）



みんなの市民活動交流フェスタ



みんなの市民活動交流フェスタは、郡山市と市内のNPO法人・市民活動団体、企業・学生ボランティアの皆さんの協力により、市民活動の活性化を目的に協働事業として毎年開催されています。

本年度は、行政と地域NPO法人から組織された「こおりやまNPO連絡会議」のメンバーによる会議の中で練り上げ、郡山の未来を担う子供たちに向けた「誰かのために社会貢献（できること）」をテーマに郡山子ども総合支援センター（ニコニコ子ども館）にて開催しました。



当日は、参加団体、企業・学生ボランティア、郡山市職員が朝早くから集合し、イベントの成功を願い元気な声で挨拶を交わし、準備作業が行われました。午前10時にオープニングセレモニーが執り行われ会場には、たくさんの子供達の笑顔が溢れ、出し物や露店を楽しんでいただきました。未来に向かって、子供達・市民の皆様がより良い街づくりに参加していただくことを願い開催するものです。

より良い地域社会を構築するために、「協働」を合言葉に行政とNPO法人や市民活動団体などがそれぞれの役割りの違いを尊重し、特性を理解し合い、一緒に汗を流し共通の社会課題の解決に取り組む活動の周知と推進に向けた大切なイベントとなっています。

特別企画 団体活動紹介パネル展

郡山市子ども総合支援センター（ニコニコ子ども館）

ビッグアイ6F市民プラザギャラリー

2015年10月24日（土）

2015年10月27日（火）～11月6日（金）



参加団体の活動紹介パネルコーナーでは、クイズ形式を導入し子供たちと一緒に大人の方にも楽しみながら団体活動への理解を深めていただきました。パソコンで作成し印刷したものや手作りで作られたパネルからは、団体の皆さんの熱意が伝わるものとなりました。フェスタ終了後には、郡山駅前ビッグアイ6F市民プラザギャラリーにて団体活動紹介パネル展を開催し、多くの市民の皆さんにご来場いただきました。

みんなの市民活動交流フェスタ開催報告②



参加団体及び出演者・ボランティア協力（順不同）

NPO 法人ペップ子育てネットワーク、NPO 法人ミットレーベン、ふくしま自立支援わたげの会、NPO 法人F.N.C.A、NPO 法人宙の仲間たち、要約筆記こおりやま、うたふく実行委員会、郡山水と緑の案内人の会、国際交流の会・かるみあ、こおりやま日本語教室、一般社団法人日本善行会 福島県支部、認定 NPO 法人キャリア・デザイナーズ、NPO 法人ウィメンズスペースふくしま、郡山ふるさと田舎体験協議会、郡山子ども図書館応援団がらがらどん、南東北病院ボランティア 紙ふうせん、日中文化ふれあいの会 幸福、NPO 法人のぞみ、水野美代子様、ふくしま現代朗読会、NPO 法人語りと方言の会、郡山水と緑の案内人の会、NPO 法人緑の協力隊、こおりやまグリーンカレー愛好会、てんこもり TV、NPO 法人ほほえみの間、NPO 法人ココネット・맘、ファミリーサポートセンター、あさか野 YOSAKOI 王舞神、岩代郡山うねめ太鼓保存会小若組、NPO 法人みんなのあそび塾によきによき、NPO 法人 ASUNA、ナカナカ映画の会、郡山市社会福祉協議会ボランティアセンター、友木厚志&ふぁみれ堂、第一学院高等学校 郡山キャンパス、郡山市青年会議所

おはなしくれよん



おはなしくれよん 代表 鈴木敏枝さん

アシストパーク郡山（以下、「センター」）

おはなしくれよん 代表 鈴木敏枝さんにお話を伺います。お忙しい中取材へのご協力をいただきありがとうございます。

センター おはなしくれよんさんの結成と主な活動について教えていただけますか。

鈴木さん 安積南地域公民館で、今から8年前の平成19年6月に読み聞かせボランティアグループとして発足しました。立ち上げ当初10名からスタートして、主に地域の児童、小中学生に向けた「おはなし会」を実施してきました。

鈴木さん ゆっくりとですが徐々に活動が広がりまして平成26年度は、おはなし会216回の実施、参加人数延べ5900人に向けた活動をしました。

センター かなりの数字ですね。おはなし会の教材は、どのように選ばれているのですか？

鈴木さん 私たちが教材として使用しているのが、公益財団法人東京子ども図書館が1973年から出版を始めた「おはなしろうそく」(No.1-No.30)を使用しています。

物語のセレクションと話しを進めて行く時間配分が記載されていたり、子どもたちに向けた語りの教材として非常に優れています。私たちはその教材を暗唱し、子どもたちの反応を伺いながら実施するスタイルで「おはなし会」を開催しています。



月に1度の定例会（安積南地域公民館）

センター 「おとなのためのおはなし会」について教えてください。

鈴木さん 昔話や童話の世界を大人にも楽しんでもらいたいとの趣旨ではじまり、年に1度ですが今年で6回目を終えました。

「おとなのためのおはなし会」は、メンバーの技術向上や地域に向けた活動紹介の機会として継続しています。

センター 今後の取り組みや課題などありましたらお話しいただけますか。

鈴木さん 「おはなし会」を実施した小学校のクラスの先生が転勤先の学校から声をかけていただくことが増えて、郡山市全域をカバーしています。更に須賀川市や他地域にも活動が広がっております。ゆっくりとですが、出来る範囲で期待に応えて行けるようにメンバーのスキルアップや会の充実をはかって行ければと考えています。

活動メンバーを如何に増やしていけるかが目下の課題の一つです。活動に興味のある方は、気軽にお問合せ下さい。

センター 会員の募集や広報などのお手伝いなど私たちアシストパーク郡山をお気軽にご活用ください。本日はありがとうございました。



平成27年度市民活動応援講座（後期）

テーマ「ボランティア活動」全2回で実施します。

ボランティア活動について様々な側面から、お話いただきます。これからボランティアを始めたいの方や今後の活動に役立つヒントが得られます。

『ボランティア活動』第5回 「活動の事例とディスカッション」

2015年12月18日（金）17:00～18:00

講師：院内ボランティア「紙ふうせん」コーディネーター
都築 芳子氏

会場：ニコニコこども館3F こども体験活動室

内容：ボランティア活動組織の成り立ちと事例紹介をしていただき、その後、ご参加の皆様とボランティアについてディスカッションします。



『ボランティア活動』第6回 「活動のはじめの一步」

2016年2月16日（火）17:00～18:00

講師：一般社団法人幸齢社会プロジェクト代表
水野 美代子氏

会場：ニコニコこども館3F こども体験活動室

内容：ボランティア活動には、どんな意識で参加すればいいのか。活動を継続するには、どんな意識や考え方が必要になるのか。実際の活動経験を基に、お話をさせていただきます。



問 お申し込みは、アシストパーク郡山まで

ワンポイント 【ファンドレイジングmemo】



クラウドファンディング

今回は、クラウドファンディングについて取り上げてみます。

インターネットなどを使用したファンドレイジング（資金調達）の仕組みで、大きく分けて3種類あります。

「購入型」「寄付型」「金融型」それぞれに特性があり、利用者数や寄附金額は増えています。

例として「寄付型」の代表的なクラウドファンディングサイトの「JAPANGIVING」をご紹介します。

例

「寄付型」プラットフォーム JAPANGIVING

<http://www.japangiving.jp/>

団体を応援する「チャレンジャー」に立候補し、何かに「挑戦する」ことを表明します。

このチャレンジャーを通じて、寄付が集まり支援先の団体へ寄付金が振り込まれる仕組みです。（それぞれのサービスによって仕組みは異なります。）

NPO法人などで言えば、理事や支援者がチャレンジャーとなり、自分の仲間・FaceBookなどで寄附を呼びかけるのが一般的です。

活動の特性に合わせてプラットフォームを選び、ギフトの設定や表現を工夫していくことが大切です。

次回、「助成金」

公募中もしくは、今後公募となる助成金情報

助成事業名称	募集期間 / 締め切り	助成額上限 / 率
公益財団法人ベネッセこども基金 (災害地の子どもたちの学びや育ちの支援、その他)	応募締切 1月5日 (火) 必着	1 団体 100 ~ 200 万円
パブリックリソース財団 未来につなぐふるさと基金	2015年11月17日 (火) ~ 2016年1月8日 (金)	1 団体 50 万円
第24回公募 住まいとコミュニティづくり活動助成	2015年11月24日 (水) ~ 2016年1月20日 (水)	1 団体 100 ~ 200 万円
東日本大震災復興支援 JT NPO 応援プロジェクト第11回	2016年1月4日 (月) ~ 1月18日 (月)	1 団体 300 ~ 500 万円
平成27年度 WCRP フクシマコミュニティづくり支援プロジェクト	第4期 2016年1月18日 (月) ~ 2月29日 (月)	1 団体 20 万円

詳細は、アシストパーク郡山のウェブ、インターネットでご確認ください。

平成27年度職員対象協働推進講演会開催報告



11月18日 (水) 郡山市職員対象協働推進講演会を開催しました。

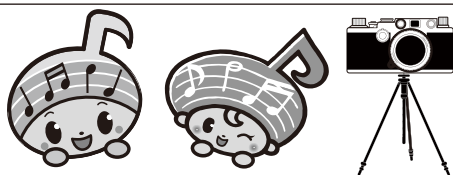


講師に産業能率大学経営学部准教授 中島智人先生をお招きし、「行政とNPOの協働について」をテーマに具体的な事例を交え、多岐に渡る資料を解説しながら熱のこもった講演をしていただきました。

郡山市の職員の皆さんに向けた協働講演会は、昨年に引き続き2回目となります。

より良い街づくりのために、更なる協働の推進に向けた取り組みを進めて参ります。

編集後記



第39号は、「みんなの市民活動交流フェスタ」の特集号です。

印象的だったのは、4階の団体活動紹介パネルコーナーで、クイズラリーの問題を見ながら、団体名を大きな声で連呼している子どもたちの真剣な眼差しをカメラに収めようとしていましたが、とてもうれしくて片目を閉じることが出来ませんでした。(H.M)

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

住所：〒963-8601
福島県郡山市朝日1丁目23番7号
郡山市役所西庁舎3F

電話/FAX：024(924)3352
ホームページ：http://assistparkkoriyama.net/

メールアドレス：ap@utsukushima-npo.jp

開館時間：8:30~17:15

休館日：土、日、(祝・祭日)

運営受託者：特定非営利活動法人
うつくしま NPO ネットワーク
住所：〒963-8835 福島県郡山市小原田2丁目19番19号
電話：024(953)6092 FAX：024(953)6093
ホームページ：http://www.utsukushima-npo.jp/